

知名町消防団上平川分団

5位入賞：県消防操法大会

第31回鹿児島県消防操法大会が、8月26日に県消防学校で開催され、大島支部大会で優勝した知名町消防団上平川分団がポンプ車の部で出場しました。また、小型ポンプ車の部には和泊町第6分団が出場し、沖永良部島から揃っての県大会出場となりました。



この大会は隔年で行われており、県内各支部の予選を勝ち抜いたチームが火災時の消火活動を想定して、ポンプ車等からホースをつ



なぎ標的に放水し、消火活動を終了するまでの速さや操作の正確性、そして規律の正しさを競うものです。

8番目に出場した上平川分団は、他のチームや観客が見守るなか、指揮者の号令によりポンプ車の操作を開始して20メートルのホース3本を的確につなぎ、約60メートル先にある炎にみたてた標的に放水しました。結果は、タイムでは11チーム中8位でしたが、規律等の動作を含めた総合得点で5位となりました。機械器具の取り扱いの習熟、迅速な行動や規律の高さは、優勝したチームと比べても遜色のないすばらしい操法でした。

知名町消防団は、大正7年に誕生した私設消防組が前身です。昭和28年に自治

体消防団として発足し、現在に至っています。過去には県消防操法大会での優勝や、全国大会準優勝など輝かしい成績を残しています。消防団は、火災時の出動はもとより、台風や地震といった自然災害などにおいても住民の避難誘導、救出作業を最前線で行う重要な役割を担っています。私たちが日々安心して暮らせていけるのも、仕事を持ちながら訓練を重ね、地域防災に貢献している消防団員の努力があつてこそだと強く思いました。

今後も操法大会だけでなく、町や字の縁の下での力持ちとして活躍してくれることを期待しています。



所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!

『海に見える理髪店』

荻原 浩／著 集英社

ある想いを胸に秘め、古い理髪店を訪ねた「僕」と店主が交わす特別な時間。急逝した娘に代わり成人式に替え玉出席すべく奮闘する夫婦。永遠のようで儂い家族の日々を描く6編の物語。『小説すばる』掲載を単行本化。



『コンビニ人間』

村田 沙耶香／著 文藝春秋

36歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは18年目。これまで彼女なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

